

## V127a Simons Array 実験における較正光源を用いた検出器性能評価試験

高取沙悠理 (総研大), 金子大輔 (KEK 素核研), 片山伸彦 (Kavli IPMU), 日下暁人 (東京大), 鈴木有春 (LBNL), 高倉理 (気象研), 茅根裕司 (東京大), 西野玄記 (JASRI), 羽澄昌史 (KEK 素核研), 長谷川雅也 (KEK 素核研), 廣瀬開陽 (横浜国大), 松田フレドリック (ISAS), 山田恭平 (東京大), 他 POLARBEAR コラボレーション

Simons Array 実験 (SA 実験) は宇宙マイクロ波背景放射 (CMB) に生成される B モードと呼ばれる特殊な偏光パターンの精密観測を行うことで、インフレーションモデルやニュートリノ質量和に強い制限を与える事を目的とする。SA 実験では3台の望遠鏡を使用し、南米チリのアタカマ観測所において CMB 偏光の精密観測を行う。3台のうち最初の望遠鏡のレーザーのインストールは完了し、運用試験が現在進行中である。望遠鏡内部には検出器較正用の参照光源として黒体放射光源装置が設置される。光源装置の信号に対する検出器の出力を評価することで検出器の光学的な性能評価を行うことが出来る。本発表では、較正光源を用いた光学試験についての報告を行う。